

I 情報収集提供業務

情報収集提供業務に関しては、主要な畜産物、野菜、砂糖及びその原料作物並びにでん粉及びその原料作物の生産及び流通に関する情報の収集、整理及び提供を行っている。平成23年度においては、当機構の業務内容が、農畜産物の生産者の経営安定対策、農畜産物の需給調整・価格安定対策といった分野に特化して実施することとして再整理されたことから、収集・整理・提供する情報をこれらの分野に重点化して実施した。

1 情報の収集

(1) 国内

価格・需給データ、需給関連の調査分析報告、優良事例及び地域情報等を機構職員、専門調査員により収集・整理・分析した。

(2) 海外

価格・需給データ、需給関連の調査分析報告、優良事例等の機構職員による調査、国際会議等への参加により収集・整理・分析した。

2 情報の提供

(1) 定期刊行物による提供

収集・整理・分析を行った情報は、「畜産の情報」、「野菜情報」、「砂糖類情報」及び「でん粉情報」の発行による提供を行った。

(2) ホームページによる提供

定期刊行物に掲載されているものに加えて、年報「畜産」、「畜産物市況週報」、「国際情報コーナー」のトピックス及び「国内統計資料」、「海外統計資料」への掲載による提供を行った。

(3) メールマガジンによる提供

メールマガジンにより各情報誌の発行情報、調査報告会開催情報等の迅速な提供を行った。

(4) 調査報告会・地域情報交換会等による提供

本部・地方事務所により海外調査報告会等、情報提供の場を設けて、生産、流通、消費、制度等に係る課題・取り組み等の情報のほか、海外現地調査等により収集した各種の情報について、利用者のニーズに応じた情報提供を行った。

3 主要な提供テーマ

(1) 畜産

- ・宮崎県における口蹄疫からの復興への取り組み
- ・酪農家の力の結集～北海道におけるTMRセンターの事例～
- ・6次産業化へのビジネスモデル「あいす工房らいらっく」の挑戦
- ・地域資源と観光資源の活用による「近江牛」生産・流通の新展開
- ・原鶏種を守り、社員を守り、会社を守り、そして地域を守る～株式会社アマタケの東日本大震災への対応より～
- ・米国における最近の飼料穀物の情勢

- ・デンマークにおける生体豚取引の活性化と日本への影響
- ・豪州の生乳生産動向～現状および増産に向けた課題～
- ・アルゼンチン産トウモロコシをめぐる最近の情勢について
- ・変貌する中国の酪農事情

(2) 野菜

- ・千葉県の手農家グループ「エイトマン」の取り組み
- ・野菜生産者の後継者をいかに育てるか
- ・鳥取県における農産物輸出への取り組みとその課題
- ・有機野菜を起点に新たな中山間地におけるビジネスモデルを目指すバイオファームまつき
- ・中国における野菜産地の概況と品目別生産・出荷動向
- ・ラオスの野菜事情

(3) 砂糖

- ・種子島におけるさとうきびおよびでん粉原料用かんしょ生産の現状
- ・さとうきび栽培省力化に向けて
- ・徳之島におけるさとうきび生産・収穫システムの革新に向けた新たな取組
- ・豪州砂糖産業をめぐる情勢
- ・アメリカのてん菜糖生産事情
- ・タイの砂糖生産の実態と政策動向
- ・国際砂糖需給とEUの砂糖制度
- ・中国の砂糖生産・消費の動向

(4) でん粉

- ・加工でん粉の製パンへの利用
- ・でん粉利用に有用な新しい固体酸触媒
- ・種子島におけるさとうきびおよびでん粉原料用かんしょ生産の現状
- ・中国におけるとうもろこしの需給動向
- ・タイのキャッサバをめぐる情勢
- ・世界のでん粉需給の見通し